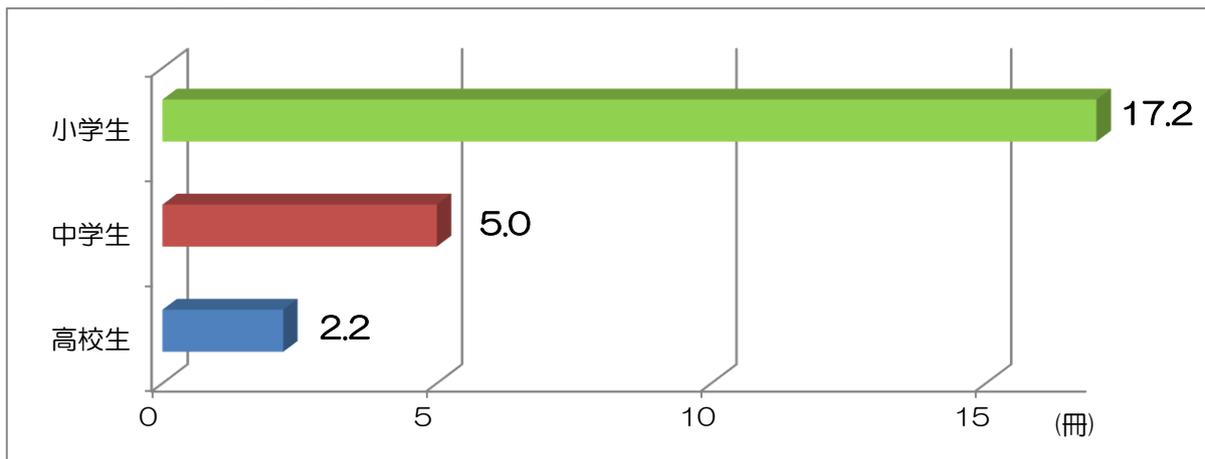


令和4年度「岩手県子どもの読書状況調査」集計結果

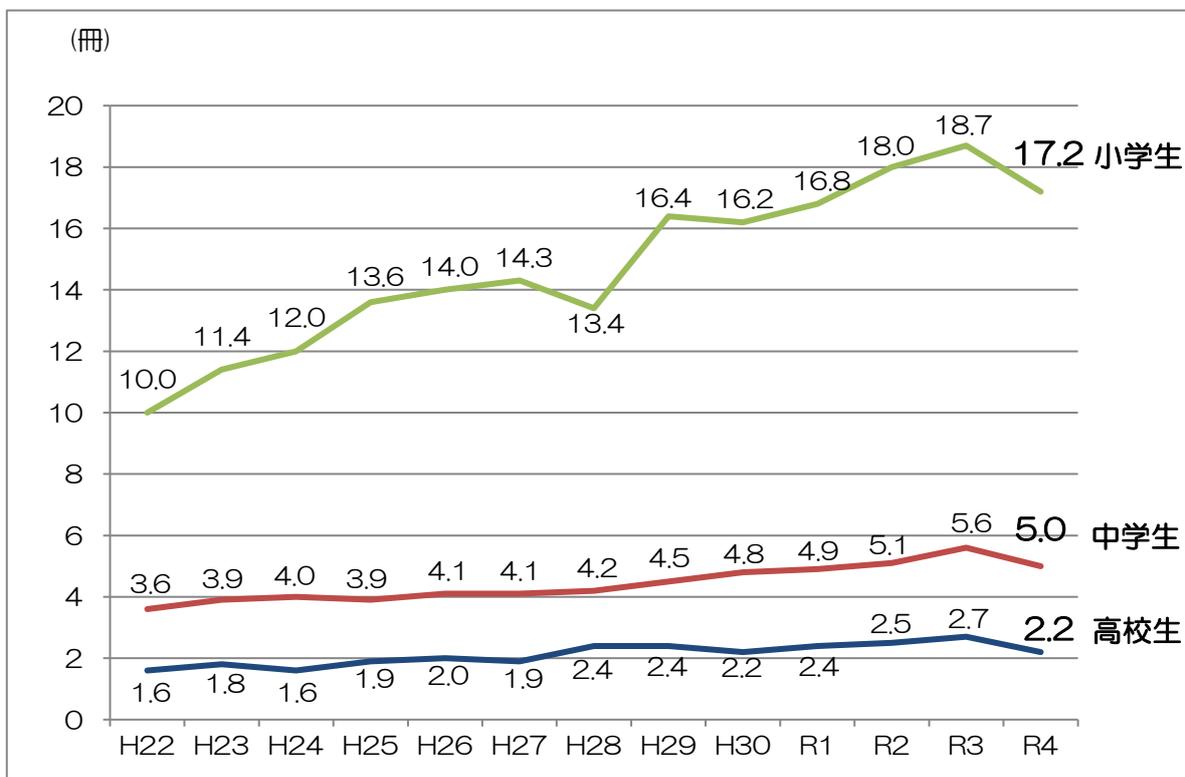
<調査の概要>

- 対象期間：令和4年10月1日～31日
- 対象児童生徒：県内各公立小・中・義務教育学校・高等学校から1学級を抽出し、当該学級の児童生徒から個別に回答を得たもの
※小(5年)5,138名、中(2年)3,316名、高(2年)1,761名
- 学校質問調査：学校内外の個人や団体と連携した読書推進活動や環境整備について、各校から回答を得たもの
- 調査方法：質問紙法

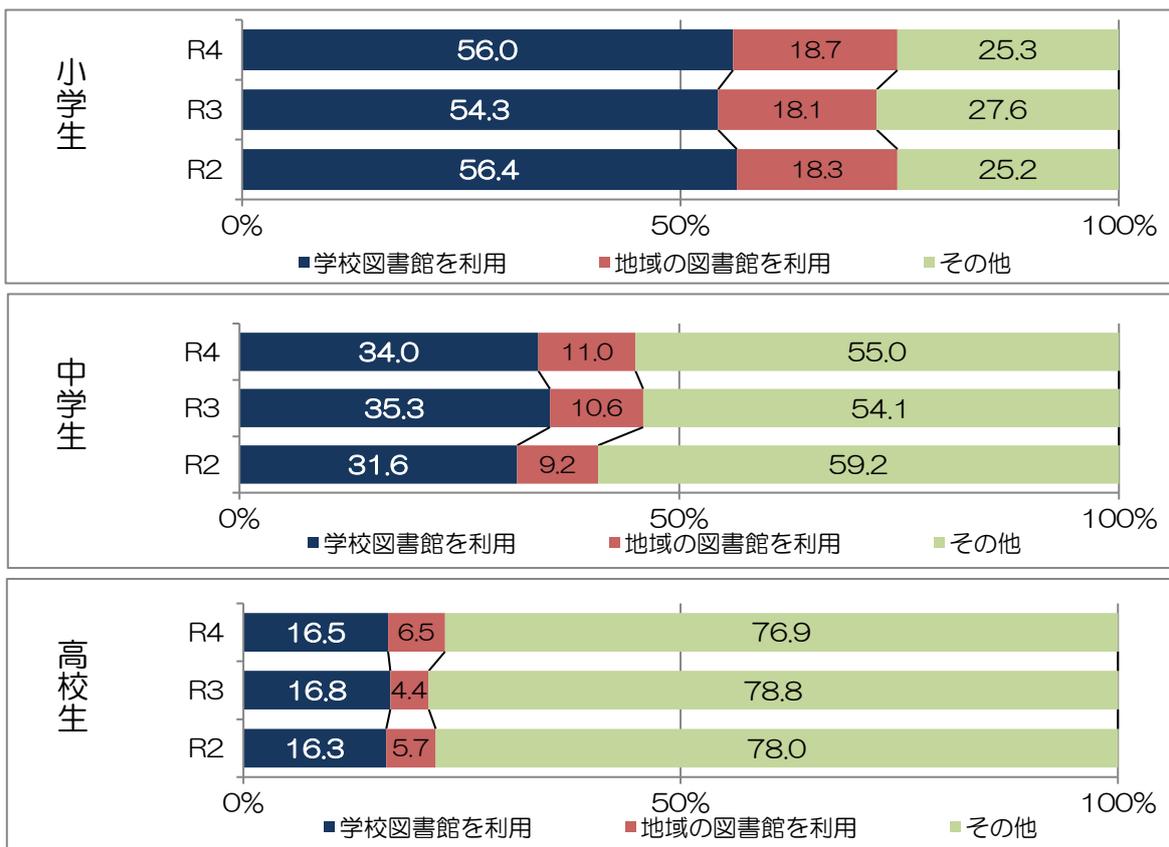
1 1か月の平均読書冊数



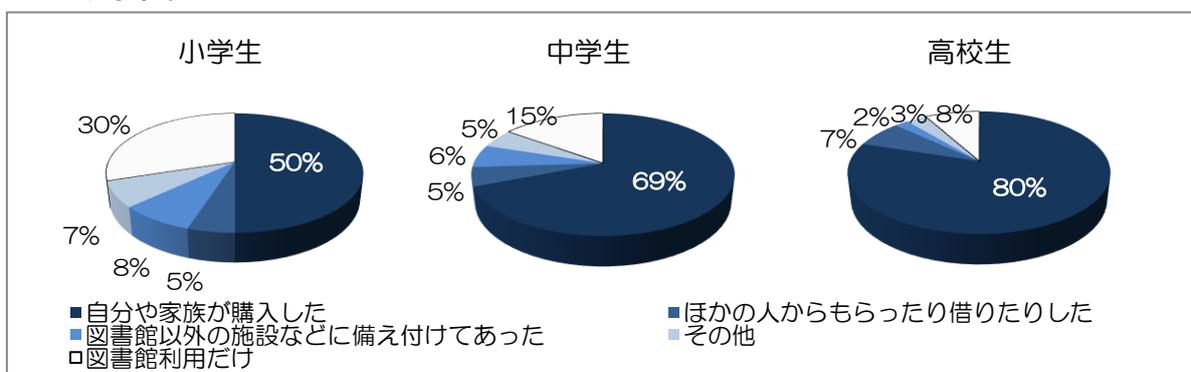
※ 1か月の平均読書冊数の経年変化
(おおむね増加傾向にありますが、令和4年度調査ではいずれの学校種においても減少しています。)



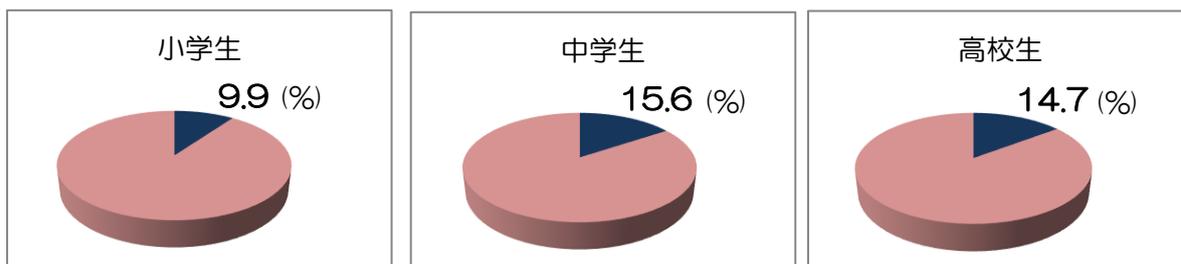
2 1か月に読んだ本のうち、学校図書館や地域の図書館を利用した本の割合
(学校種が上がるにつれ、図書館を利用した本の割合が減少する傾向にあります。)



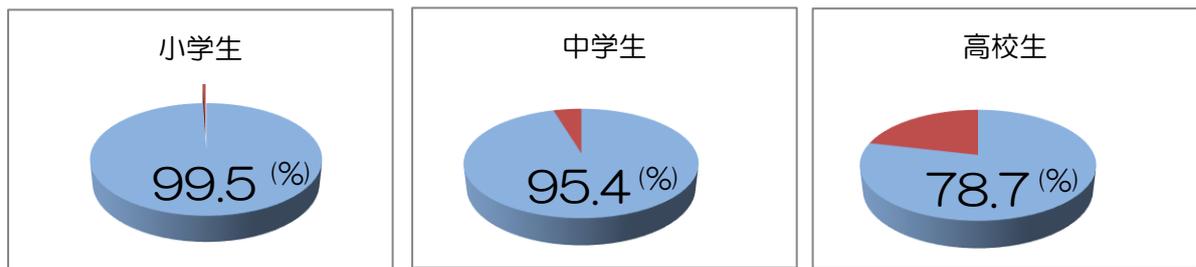
3 1か月に読んだ本のうち、図書館利用以外の本の内訳
(学校種が上がるにつれ、「自分や家族が購入した」本の割合が増加する傾向にあります。)



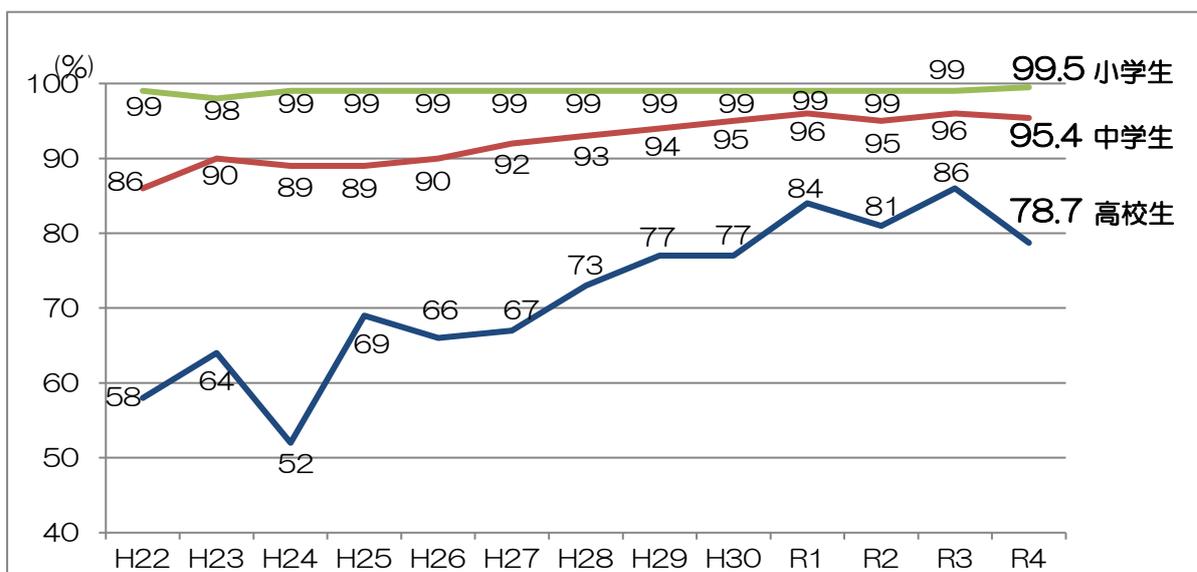
4 1か月に読んだ本のうち、友達や家族などに紹介した本の割合
(小学生に比べて、中・高校生における「紹介した」本の割合が大きくなっています。)



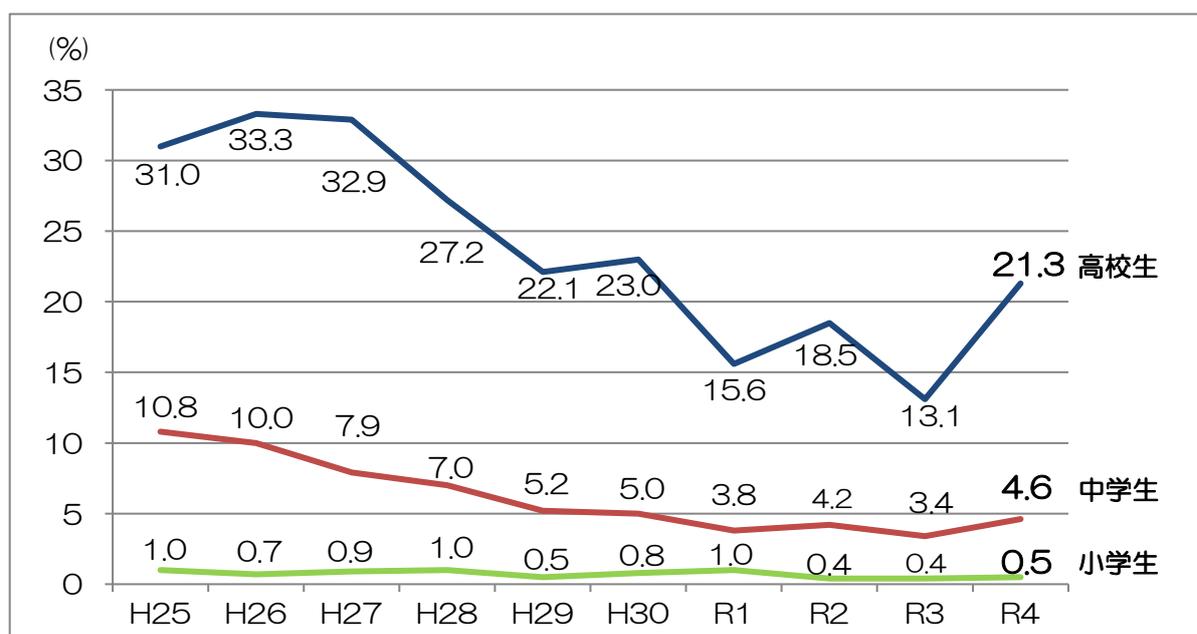
5 1か月に1冊以上本を読んだ児童生徒の割合
 (9割を超える小・中学生と、約8割の高校生が、1か月に1冊以上本を読んでいます。)



※ 1か月に1冊以上本を読んだ児童生徒の割合の経年変化
 (年度によって大きな変化がみられるものの、おおむね増加傾向にあります。)



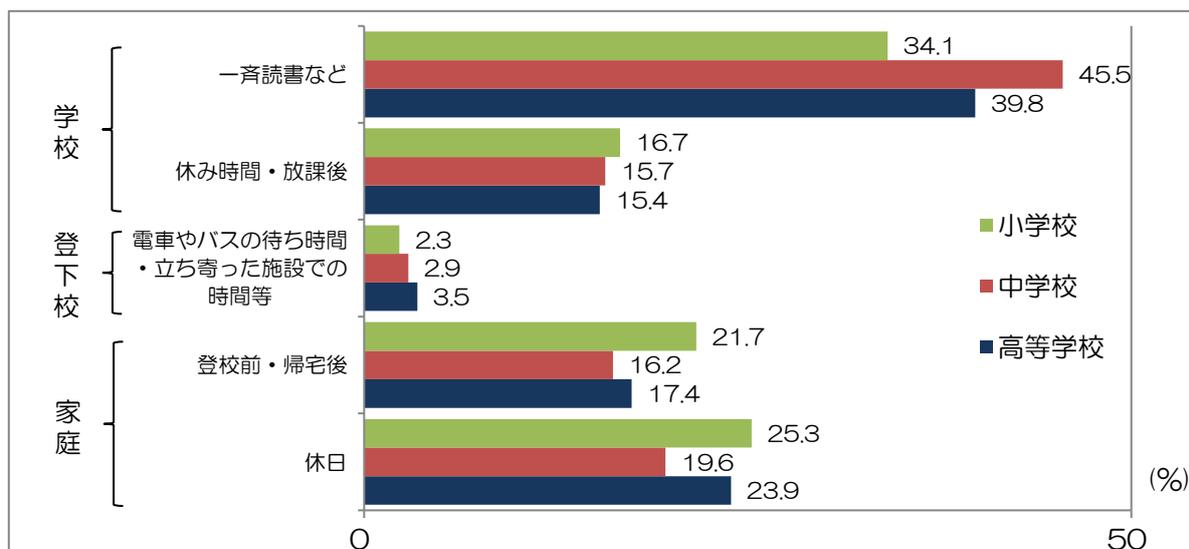
※ 不読者（1か月に1冊も本を読まなかった児童生徒）の割合の経年変化
 (令和4年度調査では、高校生における不読者の割合が大きく増加しています。)



※H25年度より県内全公立小中高等学校対象調査開始

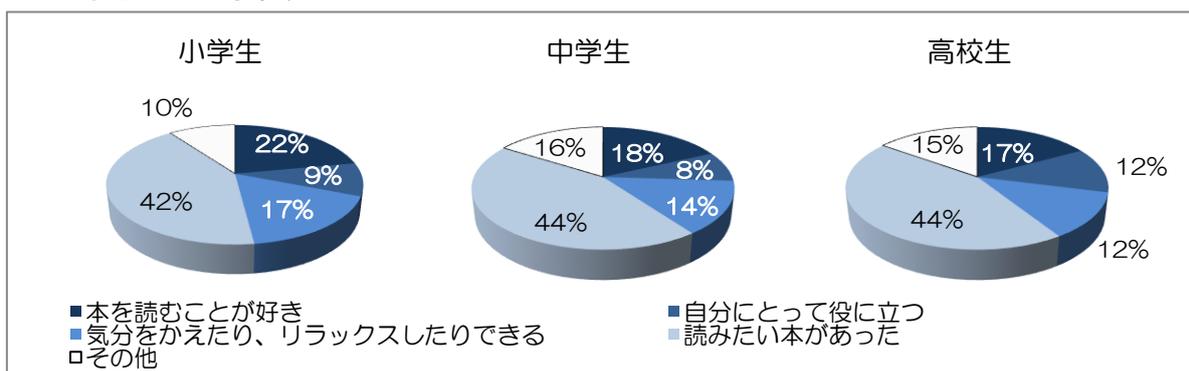
6 本を読んだ時間帯（不読者を除く）

（いずれの学校種においても、学校における「一斉読書など」の時間に本を読んでいる割合が最も多くなっています。）



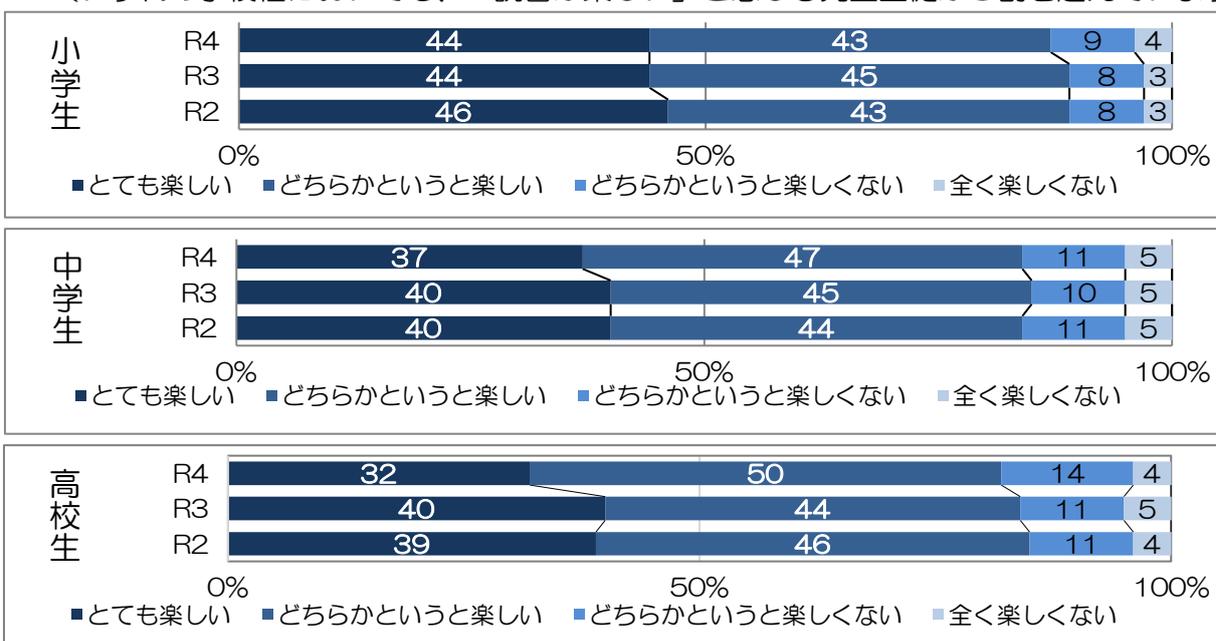
7 本を読んだ理由（不読者を除く）

（いずれの学校種においても、「読みたい本があった」ことを理由とする割合が最も多くなっています。）

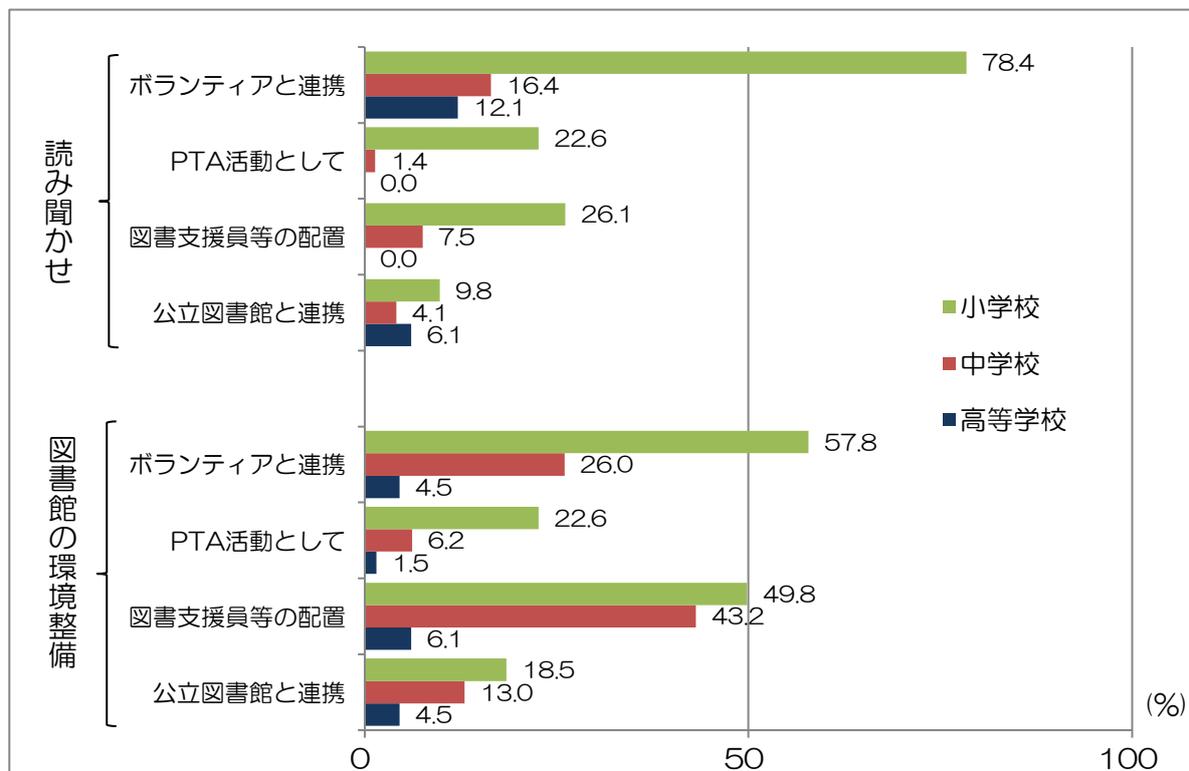


8 「読書」に対する意識

（いずれの学校種においても、「読書が楽しい」と感じる児童生徒が8割を超えています。）



9 学校内外の団体や個人等と連携した読み聞かせや環境整備を行っている学校の割合
 (学校種が上がるにつれ、ボランティアや公立図書館等と連携した読書活動を行っている割合が減少する傾向にあります。)



【参考 (R3)】

